



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

吉敷

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2023

2

No. 803



速かった〜ダスキを驚いだ選手5人
市駅伝競走大会

CONTENTS

インフォメーション..... 2

【トピックス①】

免疫力を高めて感染症の季節
を乗り切ろう!..... 3

【トピックス②】

にぎやかに「良城クラブまつり」
開催..... 4

読者発なんでも広場..... 5

今月の吉敷人..... 5

レポート..... 6

みんなで防災..... 6

健康レシピ..... 7

リレーエッセイ..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】14,737(前月比+4) 【世帯数】6,396(前月比+1)

令和5年1月1日現在



イベント案内

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

第2回 凌雲寺跡第11次発掘調査現地説明会

大内氏ゆかりの中世寺院跡「凌雲寺跡」での発掘調査の成果を調査担当者が現地で説明します。

【とき】2月11日(土・祝)10時～11時30分(小雨決行、荒天時は2月18日(土)に順延)

【場所】大内氏遺跡凌雲寺跡(中尾)

【対象】どなたでも参加可

【申込】不要

【参加費】無料

【その他】

・駐車場は凌雲寺跡見学者駐車場もしくは臨時駐車場をご利用ください。

(駐車場の場所については市文化財保護課ホームページをご覧ください。)

・説明会当日は、マスク着用・消毒・検温にご協力ください。

・新型コロナウイルスの感染状況により中止とさせていただきます場合があります。

【問い合わせ】市文化財保護課

☎083-920-4111



ウェブサイトはこちら

ハーモニカミニコンサート

地域交流センターで活動する「吉敷ゆう・ゆうハーモニ」がミニコンサートを開催します。午後のひとときをハーモニ方で癒されませんか？

一緒に演奏する仲間も募集しています。興味のある方はお問合せください。

【とき】2月15日(水)13時30分～15時

【場所】地域交流センター講堂

【申込】不要

【参加費】無料

【問い合わせ】吉敷ゆう・ゆうハーモニ(吉本)

☎080-1901-8322

子育て講座

「お魚をさばいて食べよう」

子どもが食べやすいお魚料理を作ります。親子で試食できます。

【とき】2月28日(火)10時～13時

【場所】地域交流センター調理室

【講師】SATO COCOO 椎木優子氏

【対象】未就学児の親子12組

【参加費】1組300円

【準備】エプロン、三角巾、マスク、お手ふき、子ども用マイ箸、フォーク、スプーン

【託児有(要申込)】

【申込締切】2月20日(月)

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

ぜったい役立つ！

家族の防災力UP講座

子どもの成長に合わせた備えや対策を知り、防災グッズを手作りしましょう。

【とき】3月3日(金)10時～11時30分

【場所】地域交流センター講堂

【講師】日本防災士会山口県支部 坂本由香里氏

【対象】小さいお子さんから小学生以下の子どものいる保護者15名

【参加費】100円(材料費)

【託児有(要申込)】

【主催】母子保健推進協議会、つどいの広場「楽楽楽」

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

吉敷ベタンク交流大会

ベタンクをしながら交流しませんか？ベタンクは木製のビュット(目標球)に金属製のボールを投げ合い、点数を競う競技です。初心者でも気軽に楽しめますよ。

感染予防のため、当日はマスクを持参してくださいね。

【とき】3月12日(日)8時30分集合(雨天中止)

【場所】ちよるる広場

【定員】60名(先着順)

【申込締切】2月24日(金)

【主催】地区社会福祉協議会・良城クラブ

【申込・問い合わせ】地区社会福祉協議会

☎083-922-3344

地域交流センター

定期利用団体募集

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの年間を通して、地域交流センターを定期的に利用される団体を募集します。

応募資格(要約)

- ・社会教育、生涯学習に寄与する団体で、地域に公開性、公共性がある活動を行う団体であること。
- ・団体会員数が5人以上で、かつ3分の2以上が吉敷在住であること。
- ・営利目的の活動ではないこと。(企業活動、塾、お稽古教室などは利用不可)
- ・地域で開催される行事に積極的に協力できること。

【申込書類】地域交流センターに設置

【申込方法】所定の申込書に記入し、団体の構成員名簿等を添付のうえ、地域交流センターへ提出してください。

【申込期間】

2月1日(水)～2月15日(水)

【利用調整会議】各団体から必ず1名以上の出席をお願いします。

・とき 2月22日(水)18時～

・場所 地域交流センター講座室

【問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

歳末助け合い募金のお礼

歳末助け合い募金にご協力をいただいた地域の方々に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。



免疫力を高めて感染症の季節を乗り切ろう！

発生から三年が経過した新型コロナウイルス感染症。Withコロナの中どのような点を気を付けて過ごせばよいでしょうか。地域の医療や介護に取り組んでいる青藍会グループの方に教えていただきました。

最近の新型コロナウイルス感染症の傾向は？

二〇一九年十二月初旬から始まった新型コロナウイルス感染症はパンデミックとなり四年目となります。昨年十二月から第八波に入り、年末年始に人の移動があったこともあり、患者数は増加しています。流行の中心がオミクロン株になって重症化することが少なくなっているとはいえ、季節性インフルエンザと比べると重症化率や致死率はまだまだ高い状態です。特に心疾患や呼吸器疾患、糖尿病などで治療中の方は注意する必要があります。一方で基礎疾患のない若年者が感染したとしても、重症化する可能性は低いと言われています。

現在流行中のウイルスは感染力が非常に強く、変異を繰り返しています。一旦学校や職場、家庭に入り込むと多くの感染者が出ます。一般的に感染者が多いと変異もしやすくなると

考えられています。変異を繰り返しながら感染力を維持しているため、二〜三か月後に再感染する方もおられます。当初流行していたデルタ株と比較して重症化する割合が減ったとはいえ、感染を繰り返すことで重症化する人も増えて後遺症のリスクも増えます。より効果のあるワクチンや治療薬が出てくるまでは、現在の状況が続くと考えられます。



風邪やインフルエンザとの違いや予防法は？

発熱や筋肉痛が急激に出るなどの典型的な症状の場合は、インフルエンザであることが多いですが、初期症状で見分けるのは非常に難しいです。また、これからシーズンを迎える花粉症も症状がよく似ています。新型コロナウイルス感染症の場合は、症状が非常に多彩で、無症状の方もいれば、急激に症状が悪化する方もおられますので、自己判断せずに医療機関を受診して診断を受けることをお勧めします。

予防法としては、いずれも飛沫感染や接触感染を防ぐために、マスクの着用や手指の洗浄、アルコール消毒が大切です。また、積極的にワクチン接種をし、流行期には不要・不急の外出を控えることも、拡大防止につながります。

生活習慣病を予防して感染症に負けない体づくりを！

先述の通り、基礎疾患があると重症化しやすくなります。感染症対策としては、日頃の生活習慣を見直し、免疫力を高めることも必要になります。適度な睡眠・食事・運動を心がけましょう。

青藍会グループでは、温泉を生かして地域の方々の健康づくりに貢献したいとの思いから、昨年十一月、かんばの宿湯田跡地にウエルネスセンター中央を開設しました。住宅型有料老人ホーム（あんしんホーム）やデイサービス（デイトレセンター）の介護事業所の他、温泉つきのフィットネスジム（メディフィットクラブ）や屋外にはバスケットコートもあり、地域の方々が集い、多世代交流ができる場所となっています。また、レノファ山口とウエルネス連携し、選手たちの練習場所にもなっています。

メディフィットクラブでは、体組成計で計測した身体の状態や運動記録をアプリで一括管理し、運動量や身体の変化が目で見分けるのでモチベーションを保て、運動を続ける

ことができます。有資格トレーナーがこれらの記録を基にご自身に最適なプログラムを処方し、アドバイスを行っています。

デイトレセンターは、自己選択型デイサービスとして、自分の身体の状態やその日の気分に合わせてプログラムを選択できます。昼食も自分でご飯の量などを調整できるカフェテリア形式です。管理栄養士による栄養教室に参加された方はそこで作られた料理が昼食となります。

健康な体づくりは日々の生活の積み重ねです。毎日の生活の中に運動をとり入れ食事を楽しみながら生活習慣を整えていきましょう。そのためにも、感染症の時期ではありますが、家に籠らず、感染対策に気をつけながら地域の方々と交流する中で体づくりに取り組まれるのも良いかもしれません。

生活習慣病予防の身体づくりに、これらの施設を活用してみてください。



ウエルネスセンター中央
山口市神田町1-42
T 083(902)5290
担当：林

にぎやかに 「良城クラブまつり」開催

昨年11月16日(水)、湯田のニューメディアプラザ山口で、良城クラブ(吉敷地区老人クラブ連合会)の一大イベントである「良城クラブまつり」を開催しました。

この日は会員80名の参加の中、高齢者の仲間づくり、伸ばそう健康寿命、地域貢献の三大目標を掲げて盛大に開催され、コロナ禍でとかく沈みがちだった会員たちの心に、大きな潤いをもたらす大会となりました。

講演会と健康体操

特別養護老人ホーム「梅光苑」の濱村美和子先生の、「認知症予防について」の講演では、わかり易く面白おかしい話に、会場は笑いの渦に包まれました。

つづいて、「シニア山口」事務局の奥原淑恵さん演じる高齢者向けの「いきいきクラブ体操」があり、全員客席のままで楽しく参加、ちょっと一汗。



体操をする会員たち

会員による演芸大会

いよいよ、会員の日頃の活動の結晶を披露する「演芸の部」に突入。

最初は、良城すみれ会8人による銭太鼓。「祝い船」「銀色の道」の曲に合わせて見事な太鼓のさばきが演じられました。

代表の中川洋子さん(佐畑)の談話、「衣装はみんな考えて作った。月1回の活動で練習不足だった。反省。」

つぎの日本舞踊「黒髪しぐれ」では、前田絹江さんの魅力的な舞姿。横尾宏志さん・厚母真知子さんペアの社交ダンスでは、サンバやタンゴのリズムに乗った歳を感じさせない伸びやかなステップに、会員一同度肝を抜かれました。

良城クラブフォークダンス部は、14人の美女たちが笑顔で舞台いっぱい踊りを繰り広げました。代表代理の平山美栄子さん(赤田)からは、「もつと沢山のひとと楽しく踊りましょう。是非多くの皆さんの入会をお待ちします」。

つぎは佐畑「やまびこの会」のみなさん20数名が、「長州踊り」を舞台狭しと、輪になって踊りました。希望の「カラオケのど自慢」は桂田

昌坦(上東)、升田豊(佐畑)、北村芳之(中尾)、田鍋京子(赤田)、小田俊光(上東)、三好哲彦(佐畑)の諸氏による美声で盛り上がりました。最後は、特別出演による中村地区の田中公吉・石田孝之さんペアのギター演奏会。うっとりとする演奏と歌唱に至福の一時を過ごし、最後に会場の皆さんとで「瀬戸の花嫁」の大合唱で締め括り、閉会となりました。



フォークダンス部によるステージ

「良城クラブ」の再建に向けて 会長の思い

「老人クラブ」は、おおむね60歳以上なら、どなたでも参加できます。老人クラブに入会することで仲間が増え、行動範囲が拡がり、健康の維持にもつながります。

また、いままで培った知識や経験を生かす場もあり、高齢者にとって

重要なコミュニケーションであることは間違いない。

吉敷地区老人クラブの現会員数は、316人(男127、女189)です。

町内ごとの内訳は、畑23、中尾30、赤田39、佐畑97、上東92、下東24、木崎11となっています。この現状は、吉敷地区高齢者人口の1割にも満たない、ごく一部の数なのです。

約半数の町内は、まだ未加入であつたり過去存続していたが、廃止になったりです。かつては立派に運営されて活力の場になっていたという話も伺っています。

未加入の町内高齢者の皆さん、高齢化社会は益々伸張するばかりです。

この現状では、私たちの果たすべき自助・公助の限界は明白です。「老い」がすべての人に等しく到来する不都合な未来から目を遠ざけようとしてはいけません。

自分も支え合いの一員であることに気がついてください。傍観者ではなく当事者意識をしっかりと心に植え付けましょう。

これからの、私たち高齢者の生き甲斐をどうすればいいか、皆さんと歩調を合わせて考え、行き場を見つけていこうではありませんか。「一人はみんなのために、みんなはひとりのために」。

「良城クラブ」では、一人でも多くの皆さんのご加入をお待ちしています！吉報を待っています。大歓迎です！

なんでも
広場

良城クラブまつりへの想い

11月の半ば、ニューメディアプラザで良城クラブまつりが開催された。

3年前、山口市民会館での老人福祉大会で良城クラブが優秀賞を取った以後、コロナ禍等で、この大会は実施されていない。今年も中止となった。

そんな中、吉敷老人会(良城クラブ)は小規模ながら寂しい想いをしている高齢の皆さんの為に何かしようとして一念発起し、当会の開催に至った。

企画・運営・進行、コロナ対策とも素晴らしいだったのはもちろんであるが、それ以上に私が言いたいのは藤井会長をはじめとする役員の方の「気迫」である。

「そんな面倒なことをせんでも日々は過ぎるヨ」よく聞く言葉である。市内の他地区老連は今回は見送ったとのこと。それだけに素晴らしいイベントだったと心から思う。

良城クラブはNo.1クラブであるのは間違いない。今後共会員皆で応援する。藤井会長はあと10年頑張っ

てほしい。いや頑張るに違いない。

上東福寿会 齋藤昭司

瀬南地域包括支援センター
からのお知らせ

「高齢者向け住まい・施設について」

ご自宅以外の住まいの選択肢として、「老人ホーム」とひとくくりにしがちですが、高齢者向けの住まいには様々な種類があります。入居時の条件、費用なども施設によって違います。

今、住んでいる場所で自分らしく生活を続けていくために、住まい・施設について考えてみるのも良いかもしれません。2月には、主な施設についての情報を、吉敷地域交流センター2階で掲示します。ご来館の際にご覧ください。

その方の状況に応じた施設についてのご相談は、包括支援センターへお気軽にご相談ください。

* 山口市瀬南地域包括支援センター
☎083-934-3333よしきびと
今月の吉敷人 No. 121

本郷 伊吹 さん

まつり実行委員



心理士として約6年間の医療機関での勤務経験を経て、「やりたいことをやる」と約2年前に一念発起。小郡に就労継続支援B型事業所を開所し、現在も障がいを持つ通所者の自立した生活を支援するため試行錯誤の毎日です。日々の対話を大切にする中で、ふとした瞬間に気付く通所者の変化や成長にやりがいを感じるこの頃です。

生まれ育ちは関西ですが、大学院進学を機に山口県へ。それまでは山口県の正確な場所も知りませんでしたが(笑)、結婚を機に妻の地元である吉敷へ移り住み、もうすぐ丸7年が経ちます。

吉敷に住み始めた頃、地域に馴染みたいと参加した体育行事の打ち上げにて誘いを受け、まつり実行委員会に参加するようになりました。現在も祭りの企画・運営を担う企画委員会の委員として活動しています。外から吉敷に来たからこそその視点で新しい提案もしていけるよう、今後の地域活動にも意気込みを持って取り組みます。

兵庫県神戸市出身。佐賀在住。妻と二人暮らし。公認心理師・臨床心理士の資格を持つ。趣味は音楽鑑賞、釣り、ウインドサーフィン・SUPなどのマリンスポーツ。ヒップホップ好きが高じてMCバトルへの出場経験も。好きな言葉は「一蘭来福」。

よしきびと
今月の吉敷人 No. 119

右近 元希 さん(20)

新成人



この度成人を迎えることが出来ました。正直な話、まだあまり実感はありませんが健康にこの時を迎えられたことを嬉しく思います。私たちがこの時を迎えられたのも親のように支えてくださった地域の方々のおかげでもあると思います。本当に感謝しています。

良城小・瀬南中卒。大学生。

よしきびと
今月の吉敷人 No. 120

川村 京 さん(20)

新成人



大変な時期ではありますが、無事成人を迎えることができてとても嬉しく思います。これからも変わらず楽しみながら、恥のないように日々成長していきたいです。

良城小・瀬南中卒。大学生。

レポート

年始の恒例行事

どんど焼きで無病息災を祈願

1月9日(月・祝)、良城小グラウンドで、毎年恒例の「子ども会どんど焼き」を開催しました。

参加者はしめ縄飾りなどを持ち寄り、一年の無病息災を祈願しました。



タスキ繋ぎ走走！

1月15日(日)、阿知須きさら博記念公園で、「市民駅伝競走大会」が開催されました。吉敷からは2チームが出場予定でしたが、残念ながら1チームは都合により欠場となりました。

出場した「吉敷体協」チームは素晴らしい力走を見せ、総距離14.7kmを5人のタスキで繋ぎ走りました。



消防表彰式を開催し

日頃の活動に感謝しました

市消防団瀧南方面隊吉敷分団から4名の団員が、日頃の活動の功績を称える表彰を受賞しました。1月8日(日)地域交流センターにおいて、消防表彰式を行いました。

山口県消防協会会長表彰

勤続30年 小林和之さん

勤続10年 内田仁さん

山口市長表彰

功労章 武居義尚さん

山口市消防団長表彰

功績章 松重健吾さん

皆さん、おめでとうございます！



(写真左から、小林さん、内田さん、武居さん、松重さん)



防災ガイドブックってなあに？

山口市防災ガイドブックとは

皆さんがお住いの地域で発生する恐れのある災害情報や、危険箇所、山口市が指定している避難場所等を掲載している冊子で、令和2年6月に改訂されたものが市内各世帯に配布されました。

けれども、1月号で掲載したよきふるさとまつりでのアンケート結果によると、「一度見た」、「存在を知らない」と回答された方が、50%以上おられました。

山口市は幸いなことに、市全体が被災するほどの大きな地震や風水害は経験していませんが、近年日本国内において大型の台風や豪雨など大規模な自然災害が頻発しています。

吉敷で災害が起こってからあたふたするのでなく、「自らの命は自らを守る」という「自助」と、「自分達の地域は自分達で守る」という「共助」を基本に、吉敷地域にお住いの皆さんが安全に暮らせるようにおひとりおひとりが事前に準備をしておきましょう。

そのために、山口市防災ガイドブックには日頃からの備えと万

一の災害時に役立つよう、情報入手方法やご家庭での地震対策、非常時に備えておいてほしい物など、知っておいた方がいい内容がたくさん載っています。

事前に備えることで、吉敷地域の減災にも繋がりますので、ぜひ、各家庭での防災対策の参考に利用してみてください。

お手元に無い方は、山口市役所や地域交流センターに置いてあります。



吉敷地区防災会では、住民の皆さんと楽しく学べるように学習会等企画いたします。お気軽にご相談ください。

吉敷地区防災会

連絡：吉敷地区地域づくり協議会

083-9222-1334



吉敷地区食生活改善推進員監修

健康レシピ

「切干し大根とアサリの炒め煮」

じつは貧血かも?

鉄分が不足すると、だるい、疲れやすい、息切れ、動悸、めまい、立ちくらみ、爪が弱くなった、米を大量に食べる等々、症状が出ます。

鉄分の多い食材をたっぷりとりましょう。

材料

【4人分】

- 切干し大根 30g
- あさり水煮缶 1/2缶 (60g)
- 枝豆 (冷凍) 20g
- 油 大さじ1
- だし (水+あさり水煮缶の汁) 150ml

A

- 砂糖 小さじ2
- みりん 小さじ1
- しょうゆ 小さじ1と1/2

作り方

- ① 切干し大根は水で戻して、軽くしぼり食べやすい長さに切る。
- ② 鍋に油を熱して①を炒め、だしを加えて、煮立ったら4~5分煮てあさりも加える。
- ③ Aで味付けをして、枝豆を加えて水分がなくなるまで煮る。



リレーエッセイ

Relay Essay

033

さきむら せいじ
先村 栄二さん (佐領)



精密検査の結果を聞くため診察室に入ると、担当医から病状と手術内容の説明を受けた。

恐怖におののいて診察室を出たところ、真正面に顔見知りのM氏がいた。慰めの言葉でも貰おうと隣の席に座り「腹腔鏡手術を受けることになった」と言ったところ、私はここで3回も手術を受けたと言われてしまった。慰めて貰うどころか怒鳴りつけられたような気持ちで茫然自失している間に、いつの間にかこのリレー・エッセイを書く羽目になっていた。本当にあいつは悪党だ!!これから書く「闘病記」は病気ではなく病院との戦いで、死力を尽くして戦ったが全敗した惨めな記録である。

①入院中、ナースが来る度に「私は生きて帰るか」と話しかけた。「大丈夫ですよ」「うちの先生は名医ですから」返事があまりにも面白くないので別のナースにわざと「この手術で死んだ人もいるだろう」と聞いたところ、返事はかえってこなかった。あるナース

は、「同じことを何回聞くの、これで3回目よ!」と言ってぶぜんとして出て行ってしまった。

②手術当日、執刀医が「手術は万全の注意を払っているので何も心配することはない」と力強いお言葉をくださった。実はこの手術は生命を脅かす手術でないことは重々承知していた。しかし、ナースの歓心をかい、ナースからの親切で優しい言葉を期待したが、期待外れであった。

③手術中は全く意識も痛みもなく、気がついたら集中治療室にいた。薄暗く物音一つない室内。柱時計だけが無性に明るかった。うなり声を上げると若いナースさんが静かに走りより、小声で優しく「大丈夫ですか」と尋ねる。頷いて返事をする。数回繰り返しているうちに朝が来た。

④退院の前日、事務員さんが請求書を持ってきた。設備の不備を理由に減額を要求したが、丁寧に拒絶された。退院の日、妻が請求書通りの大金を払うのを横目で見ながら病院を出た。無事に退院することが出来たので病院とあの大金に向かって深々と頭を下げた後、車に乗り家路に就いた。

書きたいことは尽きないが、紙幅がないのでこのあたりにしておこう。





1水	●市・県民税申告相談受付(吉敷会場) 9:30～14:00	
2木	●町内会長会 18:30～	
3金	●広報委員会 17:00～	
4土		
5日	●地域づくり臨時議会、自治会・地区社協臨時代議員会 ①13:00～ ②15:00～	
6月	●あいさつの日	
7火		
8水		
9木		
10金		
11土	●第2回渡邊寺跡第11次発掘調査現地説明会 10:00～11:30	P.2
12日		
13月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～	
14火		
15水	●吉敷ゆう・ゆうハーモニー ミニコンサート 13:30～15:00	P.2
16木		
17金		

18土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●レノファ山口 VS 大宮アルディージャ 14:00～(みらスタ)	
19日		
20月		
21火		
22水	●地域交流センター定期利用調整会議 18:00～	P.2
23木		
24金		
25土		
26日	●レノファ山口 VS ジュビロ磐田 13:15～(みらスタ)	
27月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00	
28火	●子育て講座「お魚をさばいて食べよう」 10:00～13:00	P.2

3月のおもなイベント

3金	ぜったい役立つ!家族の防災力UP講座	P.2
6月	あいさつの日	
12日	吉敷ベタンク交流大会	P.2

「美しい天然!鳳凰山、吉敷川」
吉敷地区に住んでいる人で、他の地区にはない、誇りに感じるものは何か?と言えば、私は鳳凰山、そして吉敷川です。

それは日頃から、眺めているからです。自然が造り出した、私たちへの贈り物であり、その山の美しさからではないでしょうか!幼いころ、木崎町内から、東鳳凰山を眺めると農協の3階建ての白い建物以外は、ほとんどが農地でした。今では、びっくりするほどの住宅地域になりました。

当時の人々は、貧しかったけれど、地道で、力強く、前向き、活力のある人が多い時代でした。

昭和38年、全国から選手が集い、山口国体が当地で開催されました。満員のスタジアムの中、山口市内の小学6年生全員でマスを踊りました。その日は、まさに秋晴れで、華やかな一日でした。

今のように、「モノ」が豊富にある時代ではなく、皆が、明るい未来が来ることを待ち望んでいました。

改めて、鳳凰山は、我々の眼前に、きらりと輝ける存在で、ゆるぎない堂々とした風格を感じるの、私一人だけでしょうか?

広報委員 内田信行

[発行・編集]

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

